

3軸織方式

鉄線編みのプラかごの作り方



CraftBandHexagon

作成のステップ

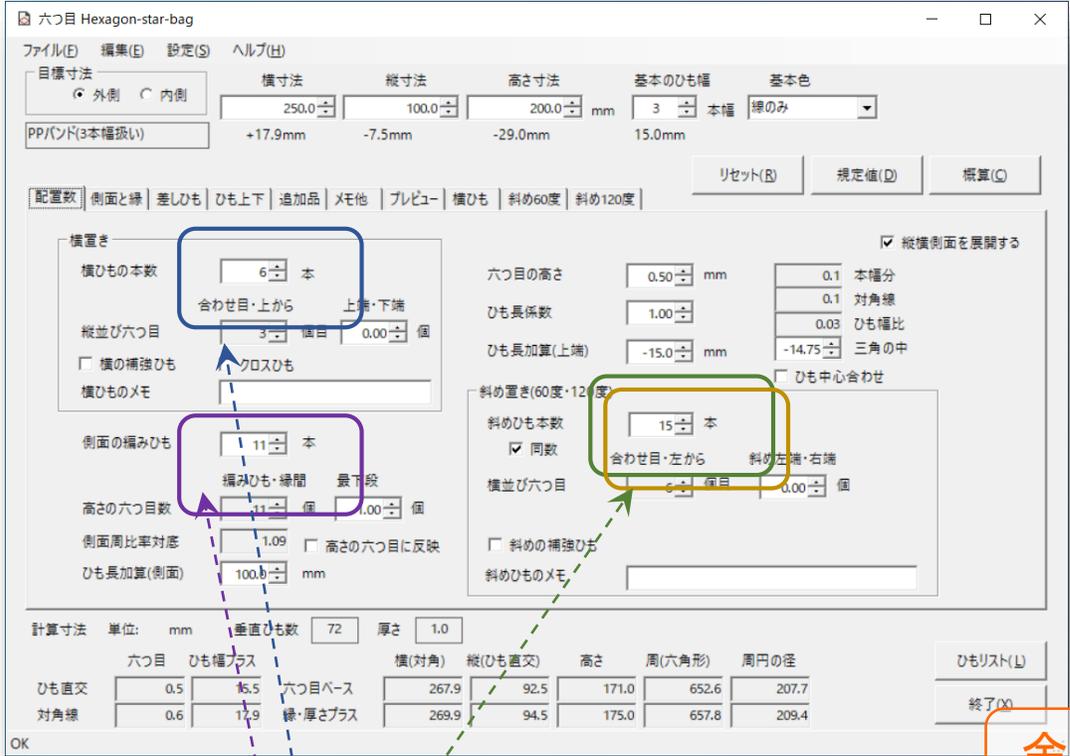
(準備) 型紙と編み図を印刷します

1. 型紙に両面テープを貼ります
2. 斜め60度のバンドを並べます
3. 斜め120度のバンドを編み入れます
4. 横のバンドを編み入れます
5. 底を折って側面を立ち上げます
6. 斜めのバンドを側面全体に編みます
7. 側面の編みひもを編んでいきます
8. 縁の始末をします
9. 持ち手を取り付けます
10. 2枚目の縁ひもで押さえます

(準備) データ概要

● 本数

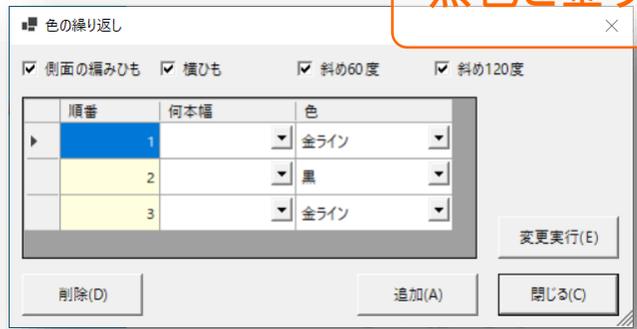
CraftBandHexagonの画面



- 横ひも 6本
- 斜め60度・120度 各15本
- 側面の編みひも 11本

● 色の並び

黒色と金ライン色



● 必要なバンド長

金ライン色 21.9m ●
 黒色 20.6m ●

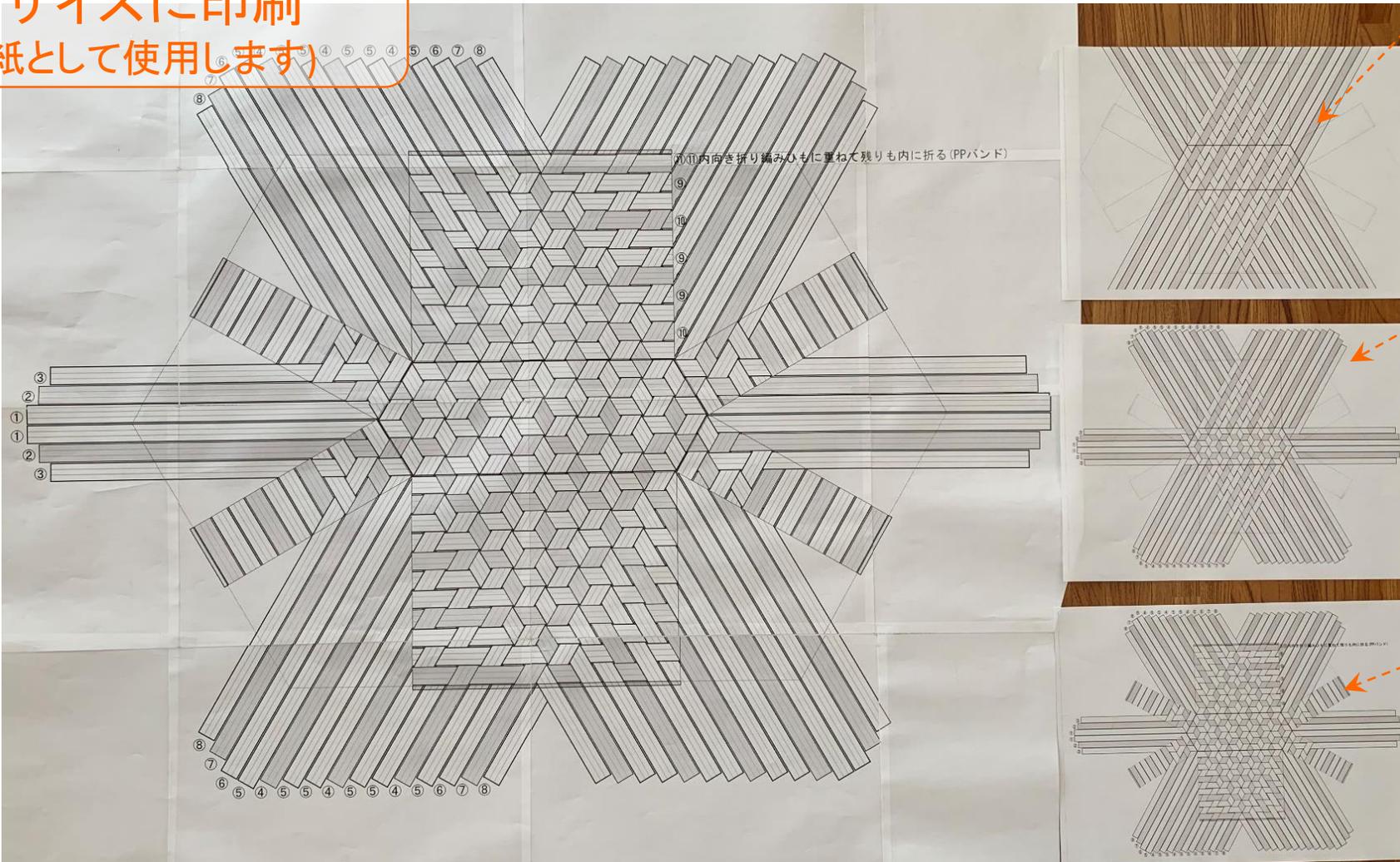
予備・余裕が殆どない
 使い切り設計です
 不安な方は+αしてね

カテゴリ	番号	記号	本幅	ひも本数	ひも長	色	タイプ	編みかた名
集計値					cm			単純計
			3種	31本	2,190.0	金ライン		
			(単純計)	(31本)	2,190.0	金ライン		21.9m
			2種	8本	780.0	黒		
			3種	18本	1,283.1	黒		
			(単純計)	(26本)	2,063.1	黒		20.6m
カットリスト					cm			
	①		3種	2本	83.2	金ライン		
	②		3種	2本	81.4	黒		
	③		3種	2本	79.6	金ライン		
	④		3種	12本	68.0	金ライン		
	⑤		3種	6本	66.0	黒		
	⑥		3種	4本	67.1	金ライン		
	⑦		3種	4本	63.5	金ライン		
	⑧		3種	4本	63.5	金ライン		
	⑨		3種	7本	75.3	金ライン		
	⑩		3種	6本	75.3	黒		
	⑪		2種	8本	97.5	黒		

側面の編みひもの長さ 75.3cm

(準備) プレビュー図を印刷します(4枚)

ポスター印刷機能で
実サイズに印刷
(型紙として使用します)



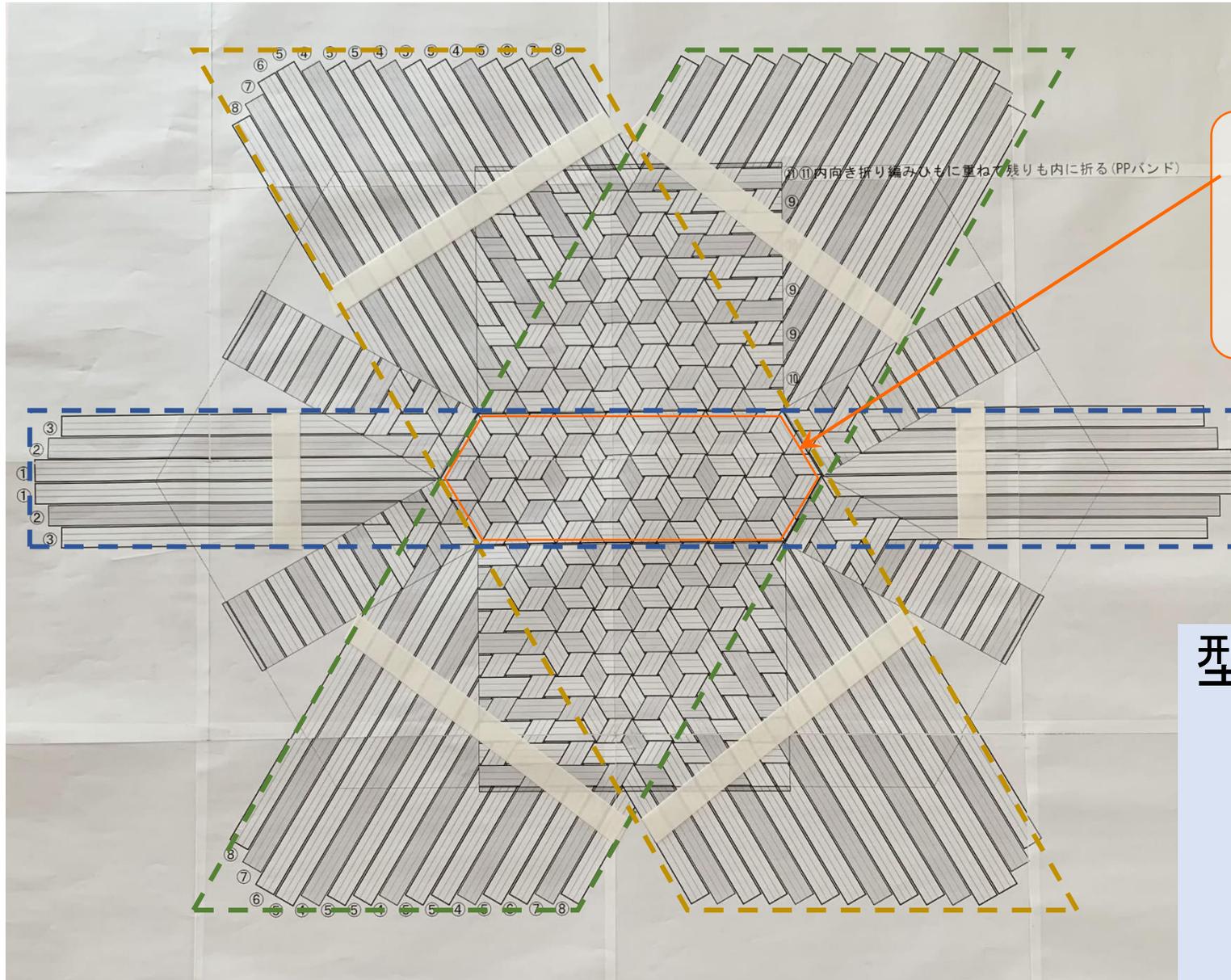
編み図A
横ひも
斜め60度
斜め120度
側面
(うら)

編み図B
横ひも
斜め60度
斜め120度
側面
(うら)

編み図C
横ひも
斜め60度
斜め120度
側面
(おもて)

(バンドが見やすいよう、色を変えて印刷しています)

1. 型紙に両面テープを貼ります



<底の六角形>
斜め60度・120度・横ひもの
3セットのバンドの重なりが
底になります

型紙に固定するのは

- 斜め60度
- 斜め120度
- 横ひも

2.a 斜め60度のバンドを並べます



剥離紙は、型紙使用後に
貼りなおすと保管に便利

型紙の各バンド位置に、
対応する色を、
カットしながら、
両面テープに貼っていく

どの位置から
貼ってもOK

バンドの丸みを
とりながら

金ラインのバンドは
裏向きで

2.b 斜め60度のバンド・完了

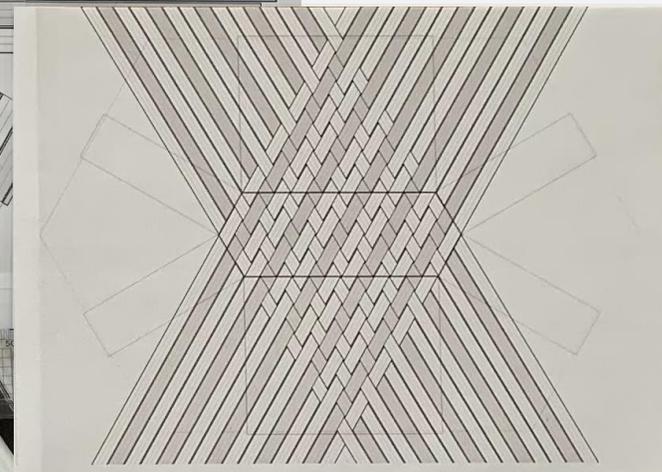


- 型紙とずれていたら直します
- 丸まっていたら押さえます

3.a 斜め120度のバンドを編み入れます



各位置・各色のバンドが
編み図Aの通りになるよう、
カットしながら
編み入れていきます

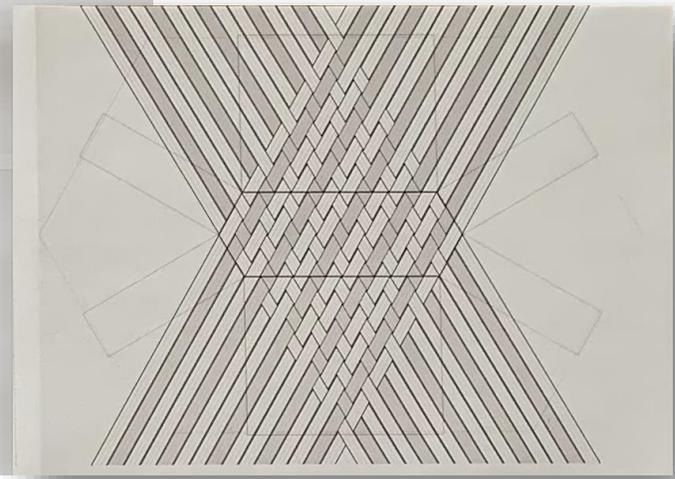


編み図A

3.b 斜め120度のバンド・完了



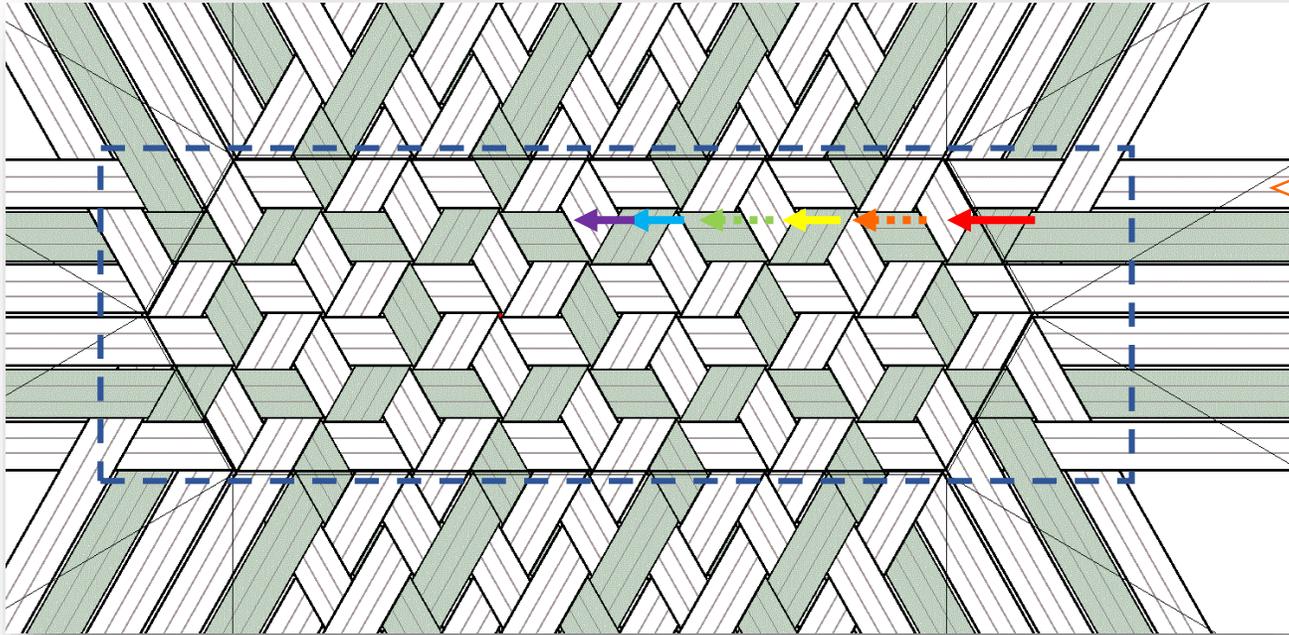
- **編み図A**と違っていたら
編み直しましょう
- 型紙とずれていたら
貼りなおしましょう



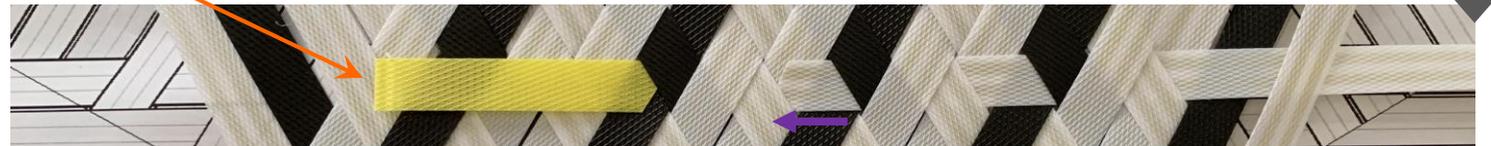
編み図A

4.a 横のバンドを編み入れます

編み図B



編み図通りに
差し入れていく



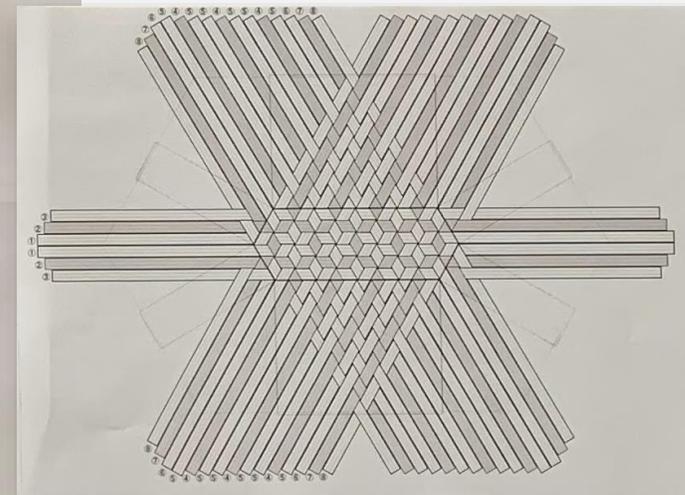
差しにくい場合
•先端をカットする
•型紙とバンドの間に
手を入れて浮かせる
•別のバンドの切れ端を
ガイドにする



4.b 横のバンド・完了

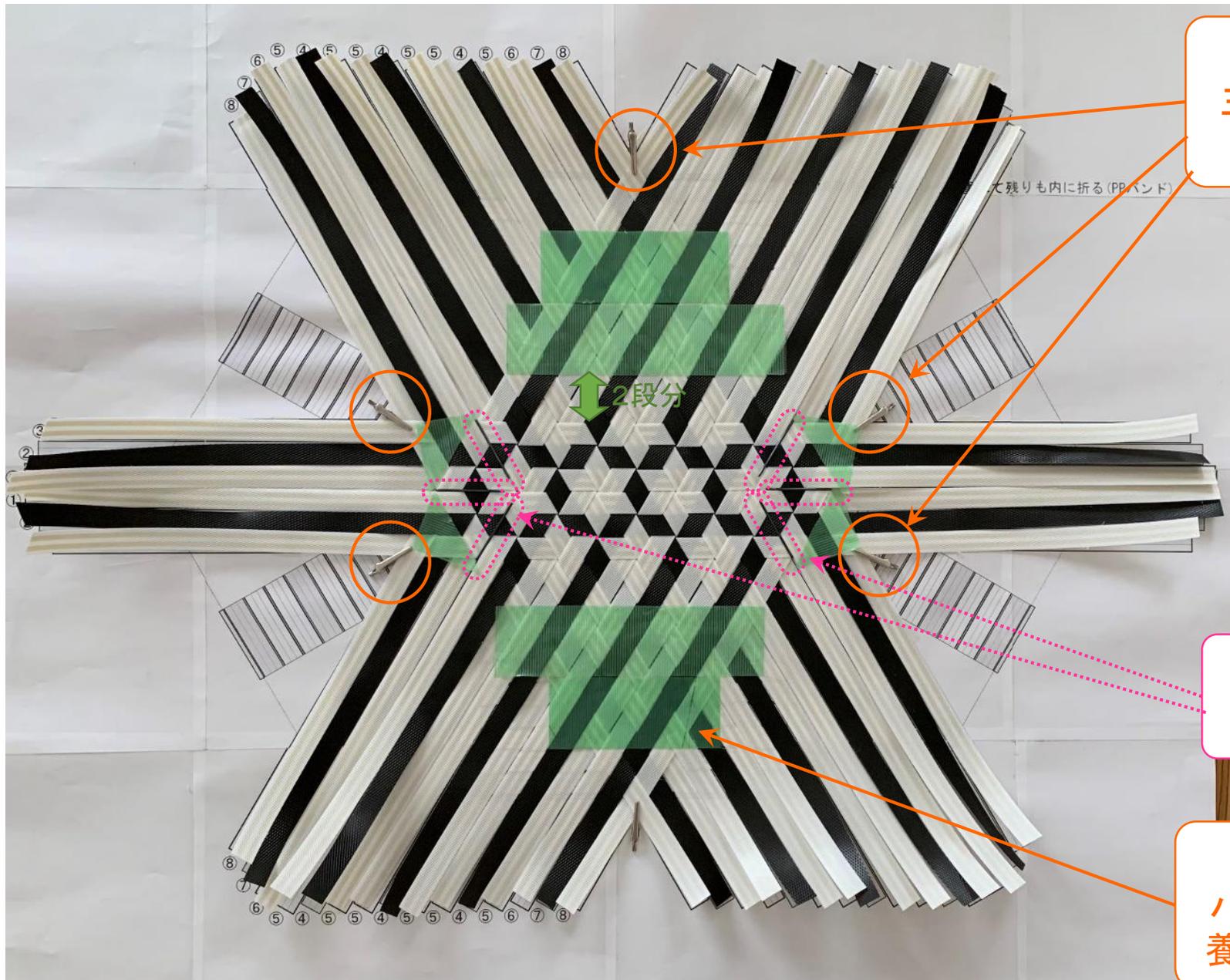


- 編み図Bと違っていたら編み直しましょう
- 型紙とずれていたら合わせましょう



編み図B

5.a 立ち上げの準備



各側面、バンドが交差する
三角の頂点をクリップで留める
(6箇所)

位置のガイドとして
その段を編む直前まで
残しておきます

六つの側面と角を
固定します

角6点を
ヘアピンで固定

3段編んだら
外して詰めます

6つの側面の
バンド交差位置を
養生テープで固定

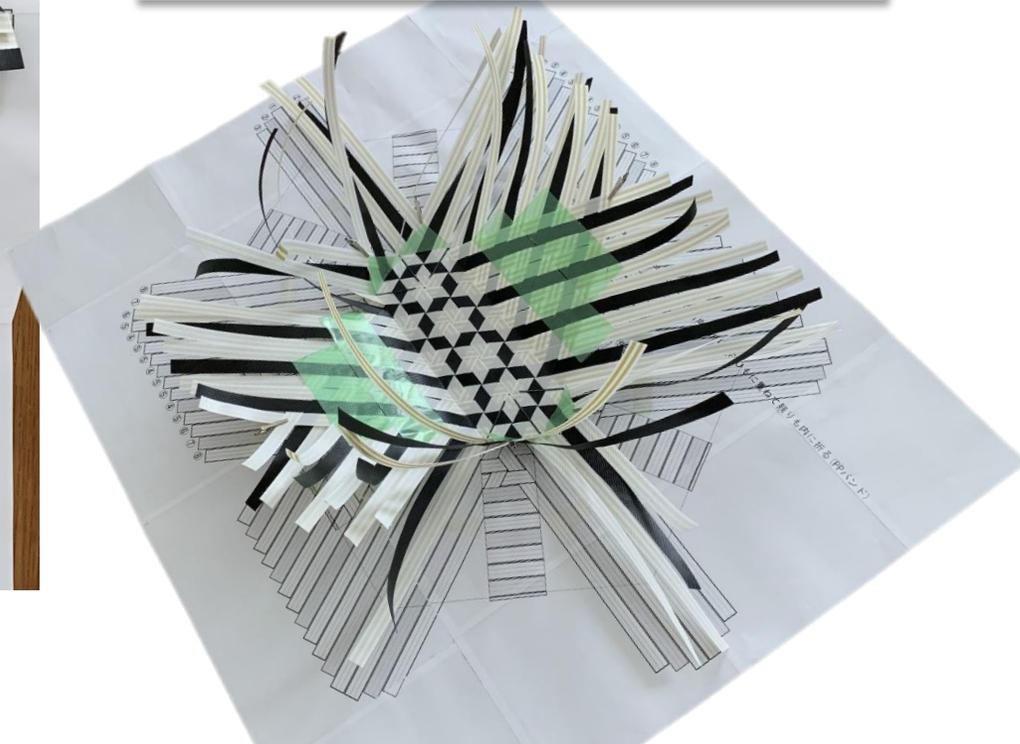
その段まで
編み進んだら
外します

5.b 底を折って側面を立ち上げます

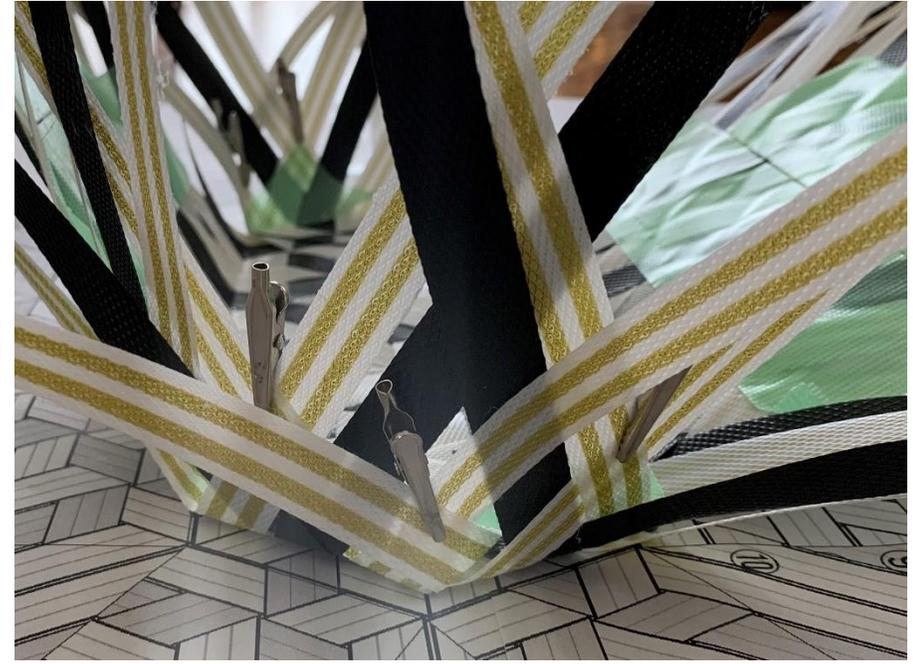
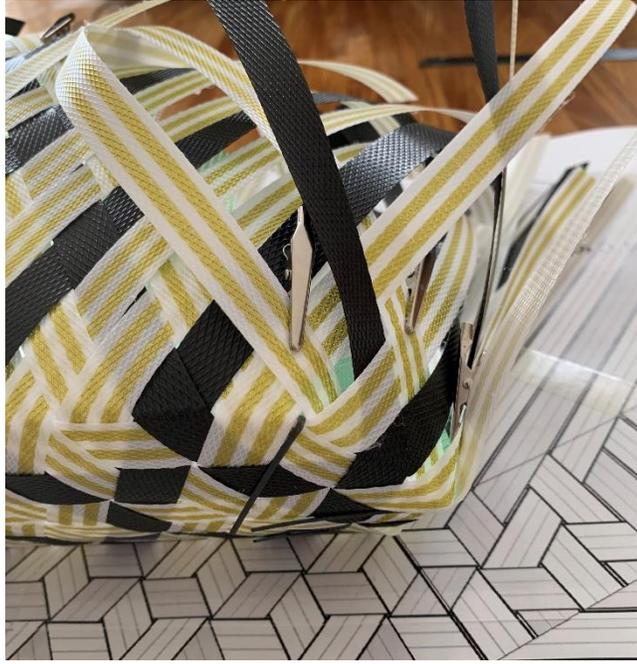


折り位置に定規を置いて
定規の角でしっかり折る

底の六角形の各辺
6箇所、順に
テープから外しながら
折っていきます

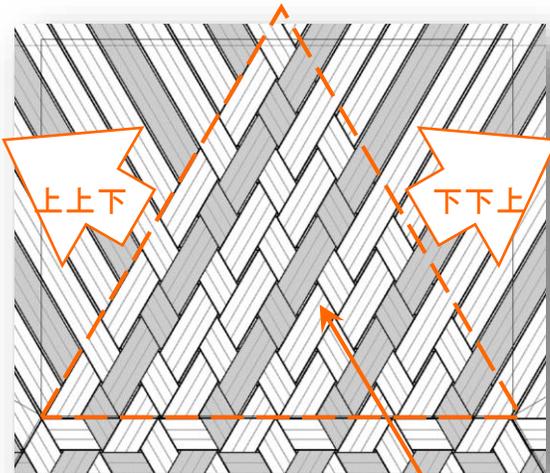


6.a 角6点を仮止めします(五つ星の中心)



6.b 斜めのバンドを側面全体に編みます

編み図Bの上側面



同じ編み目が続くように
編んでいきます

編まれている箇所
(底から続く三角形)

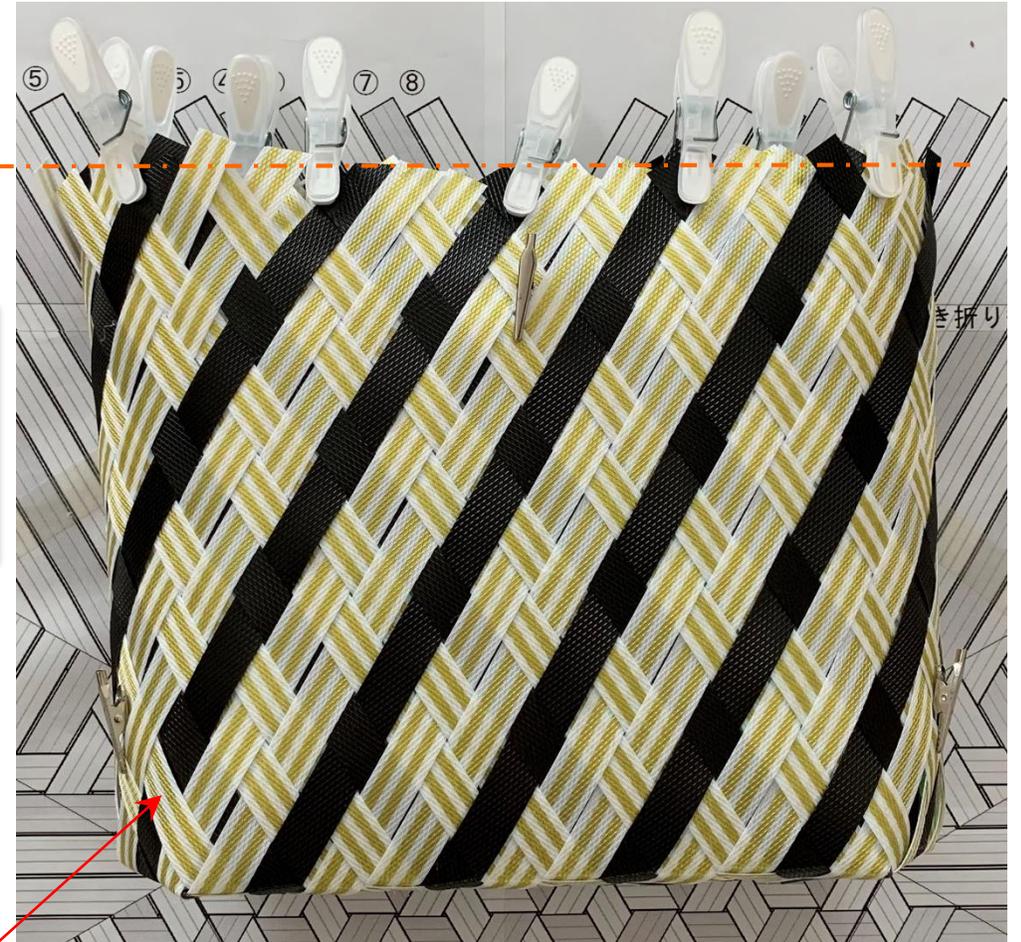


縁の折り曲げ分は
全て同じですから、
バンド上部が揃います

角度がずれると揃いません
再度、型紙に合わせましょう

全面すべて、
右向きバンドに対して
左向きバンドを編んでいく
(もしくはその逆)
一方向に編むと良いです

ここ、間違っています!
(この後修正しました)
全体が同じ編み目に
なっていることを
確認しておきましょう

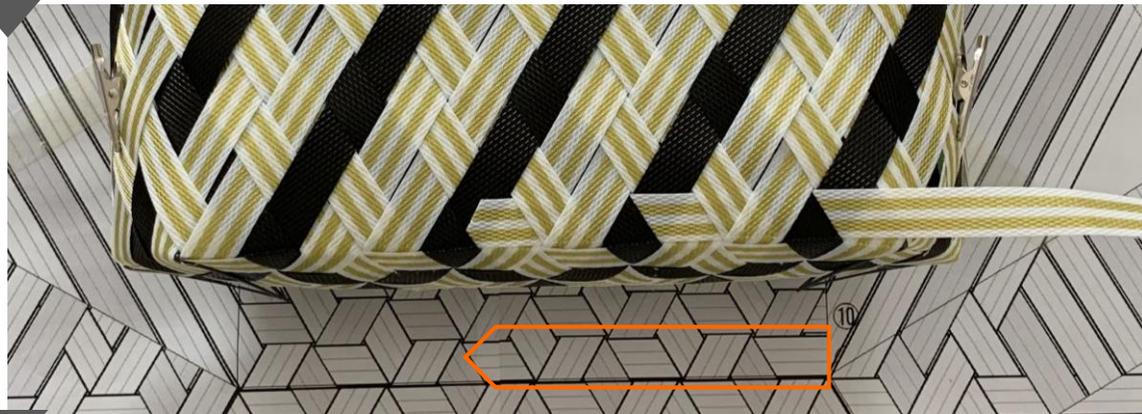


詰めて形を整え
クリップで固定します

7.a 側面1段目の編みひもを編みます



編み図cと型紙は同じ絵のため

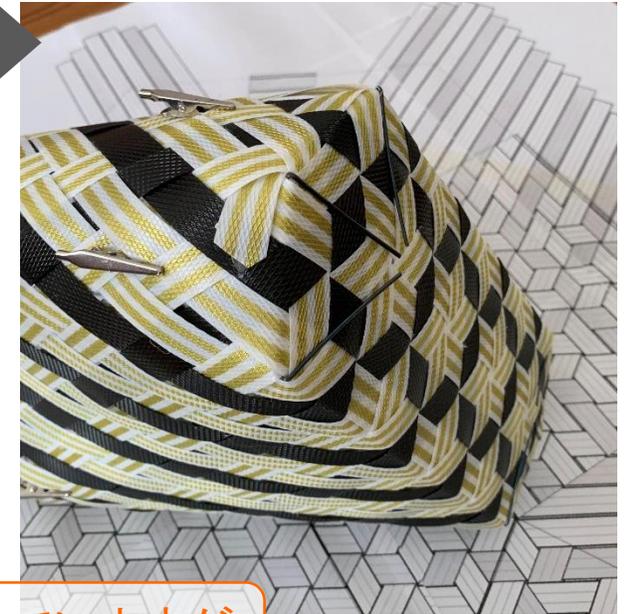


編み図は、角が欠けていますが
同じ編み方を続けてください

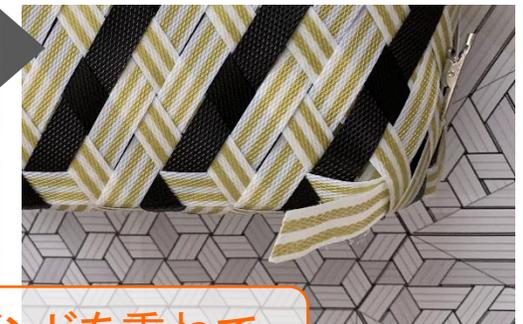
3本1セットのパターンを
つかみましょう



1周編めたら、バンドを重ねて
端が裏に隠れるようにします



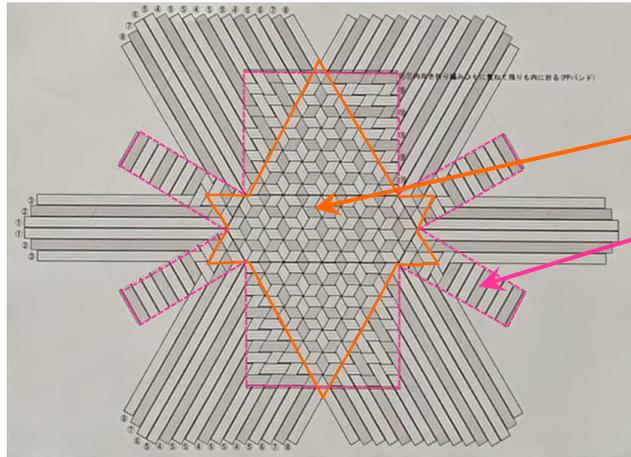
外側と内側、両方から編みます



1段目がいちばん編みにくい。
上の方にいくとラクになります

7.b 側面の編みひもを編んでいきます

11段全て編み終えた



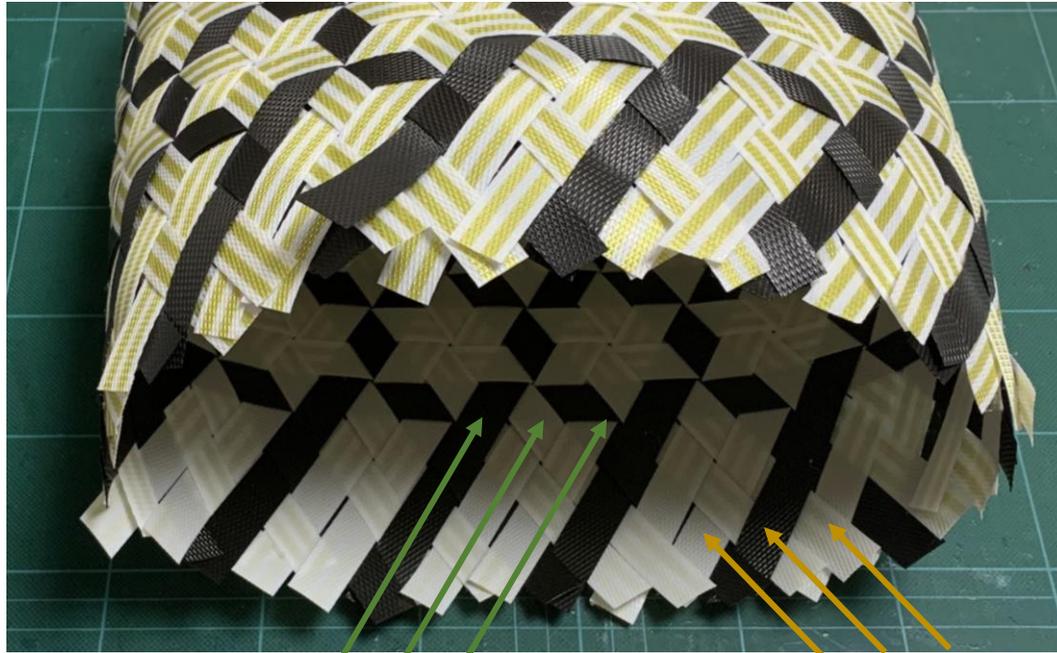
編まれている箇所

側面の位置

編まれていない箇所は、
編まれている箇所と
同じ編み目になるように編む

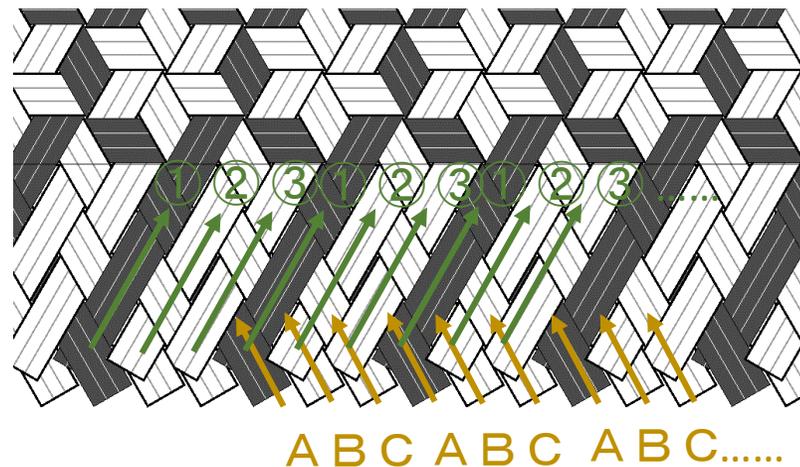


8.a 縁の始末・折り返しと縁ひも



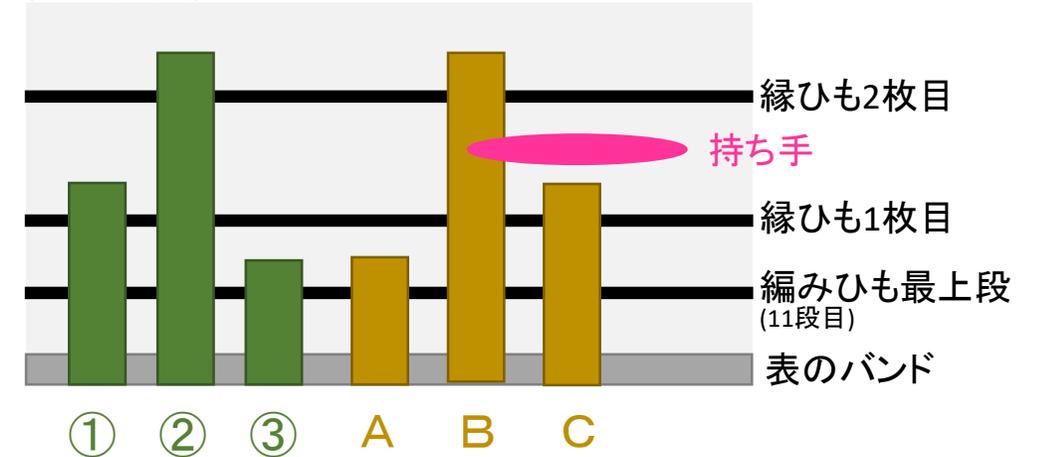
縁の折り返し部分を裏側から見ると

- バンドの並びは3本ごとの繰り返しです
- 60度方向と120度方向が重なっています
- 識別のため方向ごと ①②③ ABC とします



裏(内側)

縁の厚み部分



表(外側)

- 持ち手については、2パターンあります
- 持ち手→縁ひも2枚目→②とBバンド
 - Bバンド→持ち手→縁ひも2枚目と②バンド

8.b 縁の始末・編みひも最上段の処理

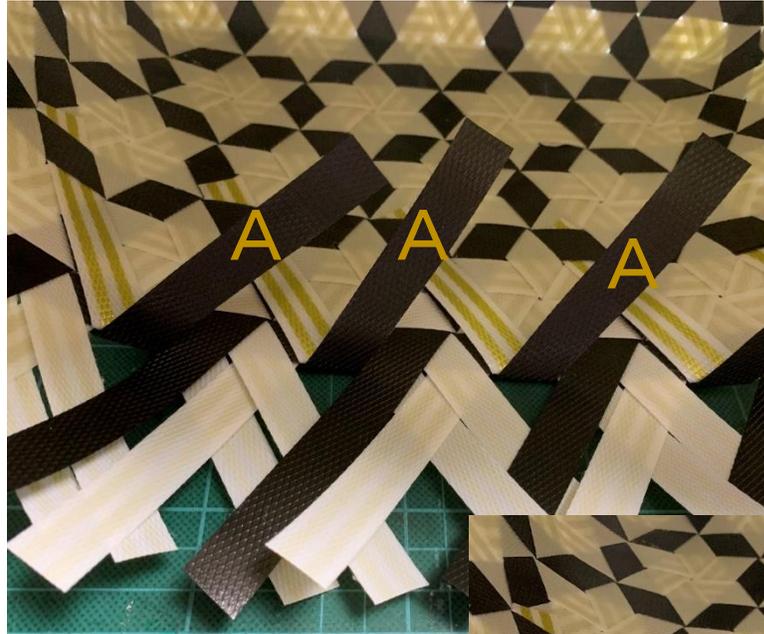
③のバンドを折って差し込む



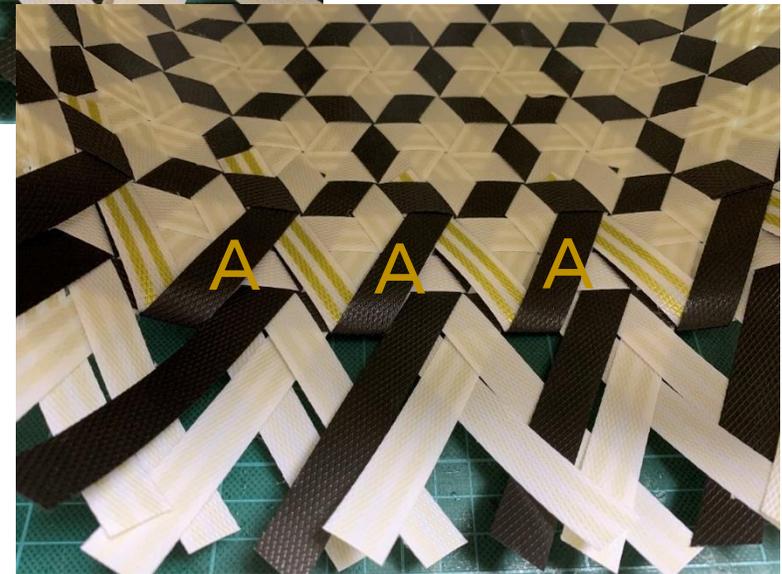
最上段の
編みひもの上位置で
折ります



Aのバンドを折って差し込む



ぐるっと一周
同じ様に差し込みます



8.c 縁の始末・縁ひも1枚目の処理

1枚目の縁ひもを置き

①のバンドを折って差し込む



最上段の編みひもに
縁ひもを重ねて
その上に折ります



Cのバンドを折って差し込む

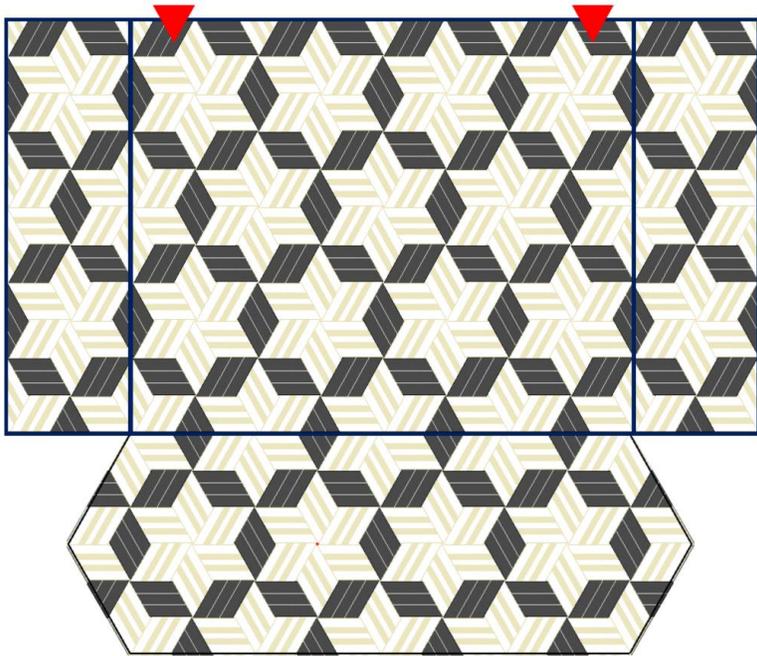


縁ひもの端は
重ねます



9. 持ち手を取り付けます

取付は、上側面・下側面の
端から2番目のバンド位置



4本丸編み
45cm
+15cm(取付用)



取付位置に
②Bバンドが
なければその上

取付位置に
Bバンドがあれば
Bバンドを折った上



10. 2枚目の縁ひもで押さええます

2枚目の縁ひもを置く

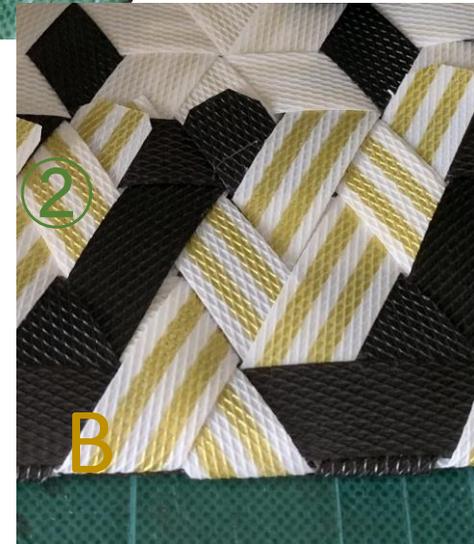


②のバンドを折って差し込む



差し込み位置は
縁から1段下の編みひもの上部です

Bのバンドを折って差し込む



完成です!



内側はこんなです



ひっかからないよう
バンドの角を
少しカットしていますが
長さは最初のままです

持ち手の取り付けは
行き当たりばったり
かなり適当です

でも、地が三重なので
どこを通して
表に影響しないのです

